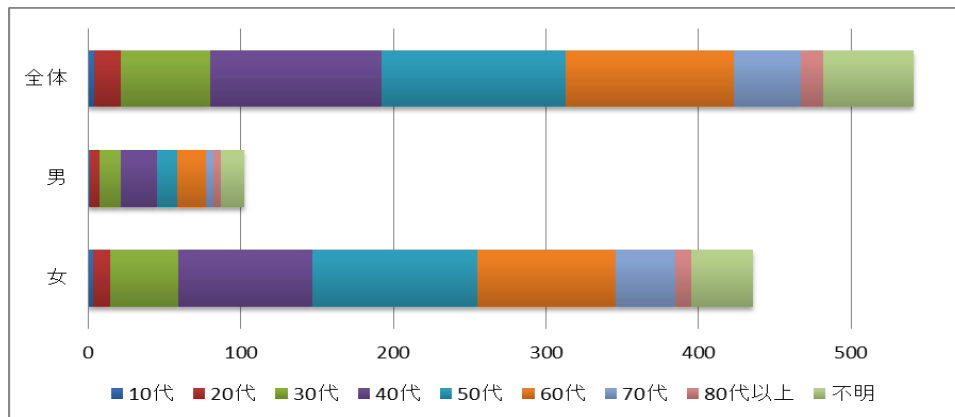


第13回 こころの健康電話相談 —ご報告—

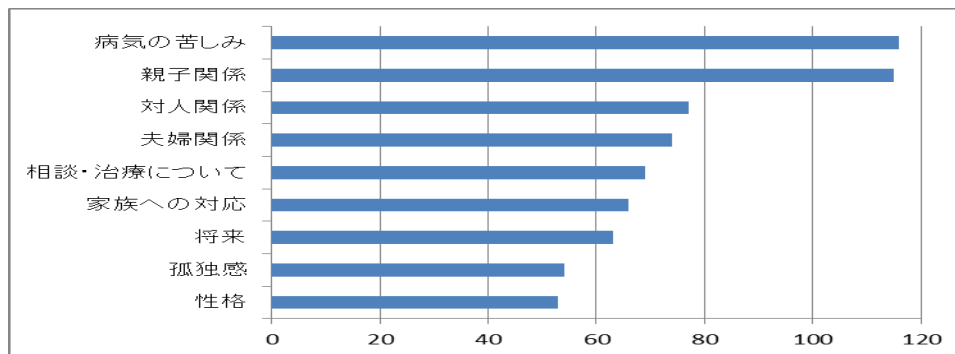
平成24年1月29日（日）に日本臨床心理士会と39都道府県の臨床心理士会の共催で第13回「こころの健康電話相談」を行いました。

当日は、総数547件のご相談をお受け致しました。お電話一本当たりの所要時間は、平均26分でした。

ご相談者は40代～60代の方が多く、合わせて60%以上になります。また前回と同様に70代以上の方の相談も多く、10%（約60件）お受けしました。



ご相談される内容では、心身の病気で苦しんでいるという相談（21%）と、親子関係についての相談（21%）を多くお受けいたしました。



相談の多い9項目

全体では、次のような内容が多く寄せられました。

- ・ご自身やお子様の病気療養が長く続いており、将来が心配である。
- ・職場や近い人との関係がうまくいかず、苦しい。
- ・配偶者との不和などの夫婦間について。

今回は前回までよりも多い約4割の方が初めて相談をしてみようとお電話をされたようです。

今まで胸に秘めていたこととお話しされるのに、「臨床心理士」に相談したいという意識を強く持っていらっしゃる様子が伺えました。

私共臨床心理士は、高い専門性をいかんなく発揮し、皆様の胸の内を受け止め、お心に寄り添い、お力になれることを願っております。